

研究課題名	小児ぶどう膜炎の多施設データベース構築研究
研究責任者名	広島大学病院眼科 講師 原田陽介
研究期間	2021年12月1日（倫理委員会承認後）～ 2025年 3月31日
対象者	<p>2013年4月1日～ 2025年 3月1日の間に、広島大学病院眼科で小児ぶどう膜炎による治療を受けられた15歳以下の患者さん（成人*データも含む）。</p> <p>*小児期に発症し、その後治療を行わず、16歳以上で受診した患者さんも含みます。</p>
意義・目的	<p>小児ぶどう膜炎は稀少疾患であるため、患者情報の収集は大変困難であり、実際診察して治療したとしても、その成果のフィードバックについて、初期診療にあたる一般眼科医まで浸透しているとは考えられません。本研究では、ぶどう膜炎専門医が常駐する全国の大学病院・基幹病院にて、これまでに診療した小児ぶどう膜炎について、眼科的臨床所見、血液データや治療薬についてデータベースを作成し、小児ぶどう膜炎の症例数、疾患の種類など診療録情報をまとめ、将来の診療さらには一般眼科医への知識普及に貢献できるようにすることを目的にしています。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者基本情報 2. 血液検査結果 3. 眼科検査結果 4. 治療情報 <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	<p>大阪大学医学部附属病院 自治医科大学さいたま医療センター 北海道大学 東北大学 山形大学 東京大学 自治医科大学 東京医科大学 国立生育医療研究センター 東京医科歯科大学 杏林大学 防衛医科大学 横浜市立大学 日本医科大学</p>

京都府立医科大学
近畿大学 眼科
神戸大学 眼科
高知大学 眼科
山口大学 眼科
九州大学 眼科一

本研究は大阪大学を代表施設とし（研究責任者丸山和一）、各施設で得られたデータをもとに、データベース構築を行います。その際提供されるデータは、すべて匿名化されたデータであり、データ提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の管理責任者

大阪大学医学部附属病院 眼科 准教授 丸山 和一

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5247

広島大学病院眼科 講師 原田陽介

研究機関：広島大学